

みやま市の行政課題（行政改革の視点から）

◆「☆市民等が考える課題」には、委員の皆さんが考える行政改革の視点から見たみやま市の課題を記入しています。

Ⅰ 市民参加のまちづくりについて		Ⅱ 市民サービスについて	
テーマ	☆市民等が考える課題	テーマ	☆市民等が考える課題
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり団体等の育成・支援「山川東部校区まちづくり協議会」と「岩田校区まちづくり協議会」は、会議・交流する場所（＝会館）もない。冷暖房や管理人もいる会館をつくるか、旧東部小を使用できるようにしてもらいたい。 ・まちづくり団体の育成支援。市に相談機関及びサポート隊の常設 ・広報で各区の祭りをあげて地域全体の盛り上げを計る。 	窓口サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所が遠い。コンビニでの住民票等の発行。 ・3月、4月の土、日曜日の市民課の業務拡大を進めて下さい。
防災等	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織、住民意識の盛り上がるような避難訓練要綱の作成を行う。 ・防災無線（サイレンなど）が聞こえづらい ・避難所の検討（場所によっては、災害にもよるが低い場所にあたりする） ・防災（無線）のマイクの声などが聞き取り難い事が多いので、改善して欲しい。 ・河川の災害対策の充実 ・要援護者の登録を行い、区長、民生委員、消防団員などに公表して確認する方法で訓練を行う。 	庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・各庁舎の入口に何課がどこにあるのか？この相談なら何課にいけばいいのか絵に書いて案内する。 ・分庁化 支所のあるべき姿。 ・農業関連の部署のワンフロア化を目指してほしい。 ・若い人が市に定着するように子育て世代への優遇。
シティプロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹産業である農業に対して思いきった施策等を考えてほしい。後々それが市の財源確保になると考えられます。 ・セルリ、なす等のみやまブランドの推進 ・みやま市の知名度・認知度不足。何らかの特別な対策必要。 ・みやま市アプリを作成して若い世代の方達にもみやま市の情報を発信していく。 	市民サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に対するサービス。1人暮らしの方々への日常買い物等の配慮（例えば）食品、日用真を家の近くまで販売に行く等。
情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開を積極的に進める ・子育て世代、女性、若者、農業者等が講演会等に一番来て頂きたいのに来れない日（他の行事と重なってる）時間の設定など細かい配慮が足りない。 	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・みやま市の交通手段は主に車の人が多いのに対し、マンションなどの建設はすすんでいるが駐車場がない。
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフ場利用者の増加に協力をする。 ・スポーツの普及活動 		
Ⅲ 市の職員・組織について		Ⅳ 市の財政について	
テーマ	☆市民等が考える課題	テーマ	☆市民等が考える課題
定員管理	<ul style="list-style-type: none"> ・定員適正化計画 業務内容を調査し、それに見合う人員を算定する。（再任用職員も含む） ・定員適正化 みやま市役所の現在の事務量の把握。 ・再任用の定数管理の考え方。 	財政計画	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な財政計画の策定、分析。みやま市の将来財政は厳しくなるようですが、橋、道路、危険斜面、河川などの補修や建替えの積立を相当にしておくべきです。 ・財政計画必要。きびしく。
人員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・再任用職員について、その課で本当に必要な戦力になる方を配置しなくては、その課の為になってるか疑問を持つ人事配置が課によってある。 ・人事異動が将来を見据えて等考えて行われているか疑問を持つ時がある。 ・業務の時期的な多忙など部内職員の活用を計る。 	使用料	<ul style="list-style-type: none"> ・施設使用料の見直し。瀬高、山川と高田の料金が違う。将来、瀬高に総合施設が完成した時に料金を検討し直す。 ・施設利用料の見直しについては、65歳以上の人口増加により、年々減少傾向にあると思うが現状ではどのようにしているか次回示してほしい。
職員育成	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の意義の向上。人事評価制度の導入。 ・業務の達成目標の明確化。 	未利用施設	<ul style="list-style-type: none"> ・未利用施設の有効活用。グループで活用できる場所の提供。 ・未利用市有地の有効活用として分譲する。子育て中の家族を呼び込む為、みやま市に住んでもらう事を考える。人口増加と、固定資産税の増加と住民税他の増加のため。 ・施設の有効活用。多目的に使用できる施設がない。（収容人数や雨天時など） ・未利用施設の有効利用。旧東部小、旧竹海小は住民交流会館として使いたい。という答申をしました。一日も早く実現して下さい。いつまでもお化け屋敷のようだと次の学校統合を考えている人も統合反対することになりかねません。
機構改革	<ul style="list-style-type: none"> ・健康・スポーツ課の新設。 	自主財源	<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源 ふるさと納税、農業振興。 ・自主財源ではゴルフ場利用税を上げるため利用者を増す等。
		特別会計	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業は財政の悪化につながる。浄化槽の推進を進めたい。経費がかかる。 ・高田町での上下水道事業の普及。 ・後期高齢者医療保険事業や介護保険事業は、現在、不足額を一般会計繰入金でまかなっている。（みやま市は県内でも保険税が高い）国の施策に左右される部分は多いが、今後更なる費用の増大が見込まれるので、予防に力を入れて費用縮減を。
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・予算100%以下で仕事を達成した場合に評価してあげる。（表彰等）